

東京学芸大学 『未来の先生のための ラーニングコモンズ』 とその未来

セミナー「オープンサイエンス時代における〈場〉としての
大学図書館：事例から見るライブラリー・スキーマ」

2024年1月26日

東京学芸大学図書館 高橋菜奈子

東京学芸大学附属図書館と MOLの概要

はじめに

東京学芸大学附属図書館の概要

■国立の教育系大学

- 学生4,492人、大学院生835
- 大学教員303人、職員216人（令和5年5月現在）
- 研究組織：4学系
- 附属学校12校園（5キャンパス幼稚園～高校）
- 附属学校教員335人、児童生徒数 5,523人

■附属図書館

- 蔵書数：図書 約91万冊
雑誌 約1万2千タイト
* 教育分野の資料が充実
- 図書館職員数：24名 * 内正規職員13名



東京学芸大学附属図書館
(<https://lib.u-gakugei.ac.jp/>)

Möbius Open Library (MOL) の概要

- 民間企業Mistletoe Japanとの協働事業
- 遊びを通じて、新しい学びをつくる取り組み
- 2019年9月～図書館と知の未来を考えるMoebius Open Library (略称MOL) を立ち上げ、「知の循環」の再構築を目指すラボ活動を展開

EXPLAYGROUND

<https://explayground.com/>



https://note.com/mol_exp



**「東京学芸大学附属図書館とMOL」
Library of the Year 2023優秀賞を獲得！**

Concept

Möbius Open Library



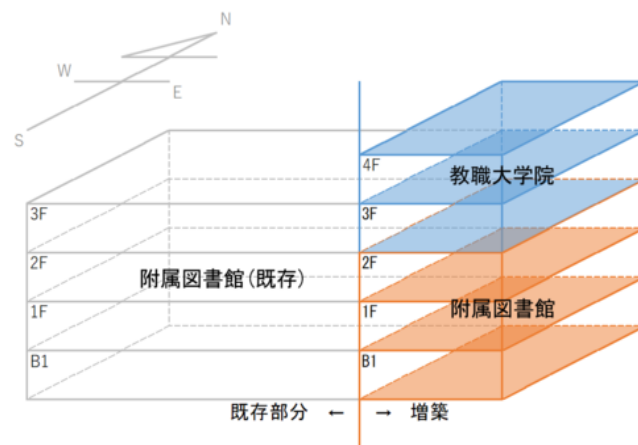
「知の循環」の再構築

図書館増築の概要

ラーニングコモンズ増築のご紹介

図書館増築の概要

- **第1期**（2014年6月～2015年5月）
 - **1階：ラーニング commons の新設**
- **第2期**（2019年12月～2021年5月）
- 既存東側に図書館／教職大学院棟を増築
 - 増築3～4階：教職大学院アクティブラーニングスペースと合築（入口は別）
 - 既存3階：事務室再編・大学史資料室設置
 - 増築2階：閲覧室の拡張・インフォメーションエリアの整備
 - **増築1階：ラーニング commons の拡張**
 - 増築地下1階：貴重書庫の整備・電動集密書庫の拡張



増築のコンセプト「教え合い、学び合う」

TERAKOYA☆commons構想

- ・学芸大生が深く関わりを持つ「教育」について知り、考え、行動するための空間
 - ・授業の学びや研究活動を深めると共に、教育に関わる様々な現場と学生がつながる学びの機会を提供
 - ・「江戸の教育力」にならい、寺子屋のように誰もが先生と生徒になる「教え合い、学び合う」「にぎわい」の場
- ・ **知の宝庫・知の集積拠点と知の創造・発信拠点とする**

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20171128>

ラーニングコモンズ4つのコンセプト

① 出会う

- 大学内の教職員や学生同士に加えて、現職教員や卒業生、教育に関わる企業の人と**交流する場**を提供します。出会いを通じて知識を深め、課題を共同で探求することを目指します。

▶ グローバルエリア・アクティブエリア

② 深める

- **誰かと話し合いながら**授業、研究活動、課外活動の**学びを深める場**を提供します。対話の質を向上させるための学習環境や、ツールを用意し、人的な学習支援も行います。

▶ グループワークエリア・資料エリア

③ 創る

- 学びの成果として、またさらなる学びに繋がる媒体として、レポートや論文、プレゼンテーション、指導案、企画、イベント、ワークショップ、その他を**作成する場**を提供します。

▶ インフォメーションコモンズ・資料エリア

④ 伝える

- 学んだことを周囲に発信し、伝えるための場を提供します。そのために**プレゼンテーション**や文章の作成などの情報発信力の向上を支援します。

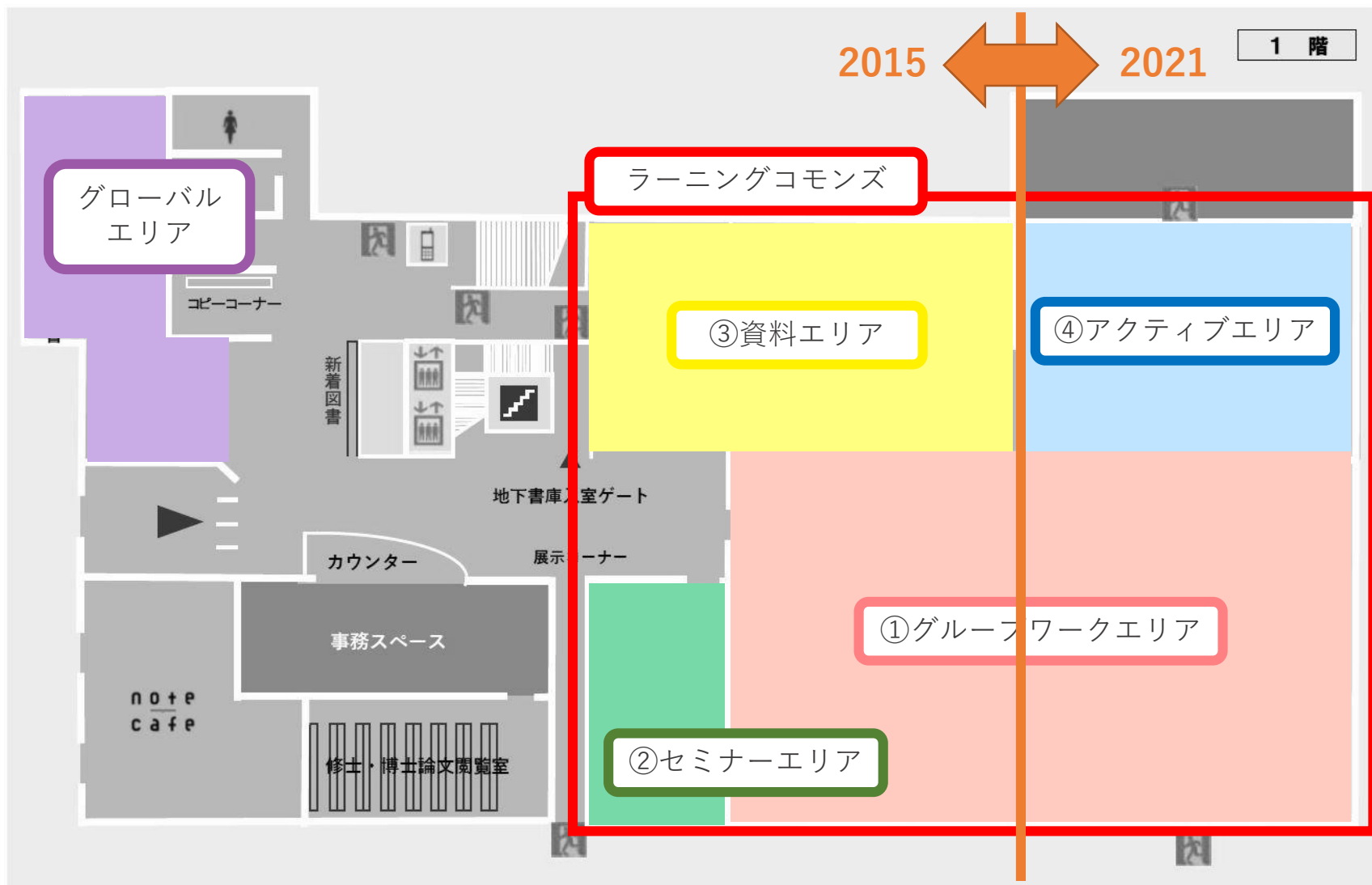
▶ アクティブエリア・セミナーエリア・グローバルエリア

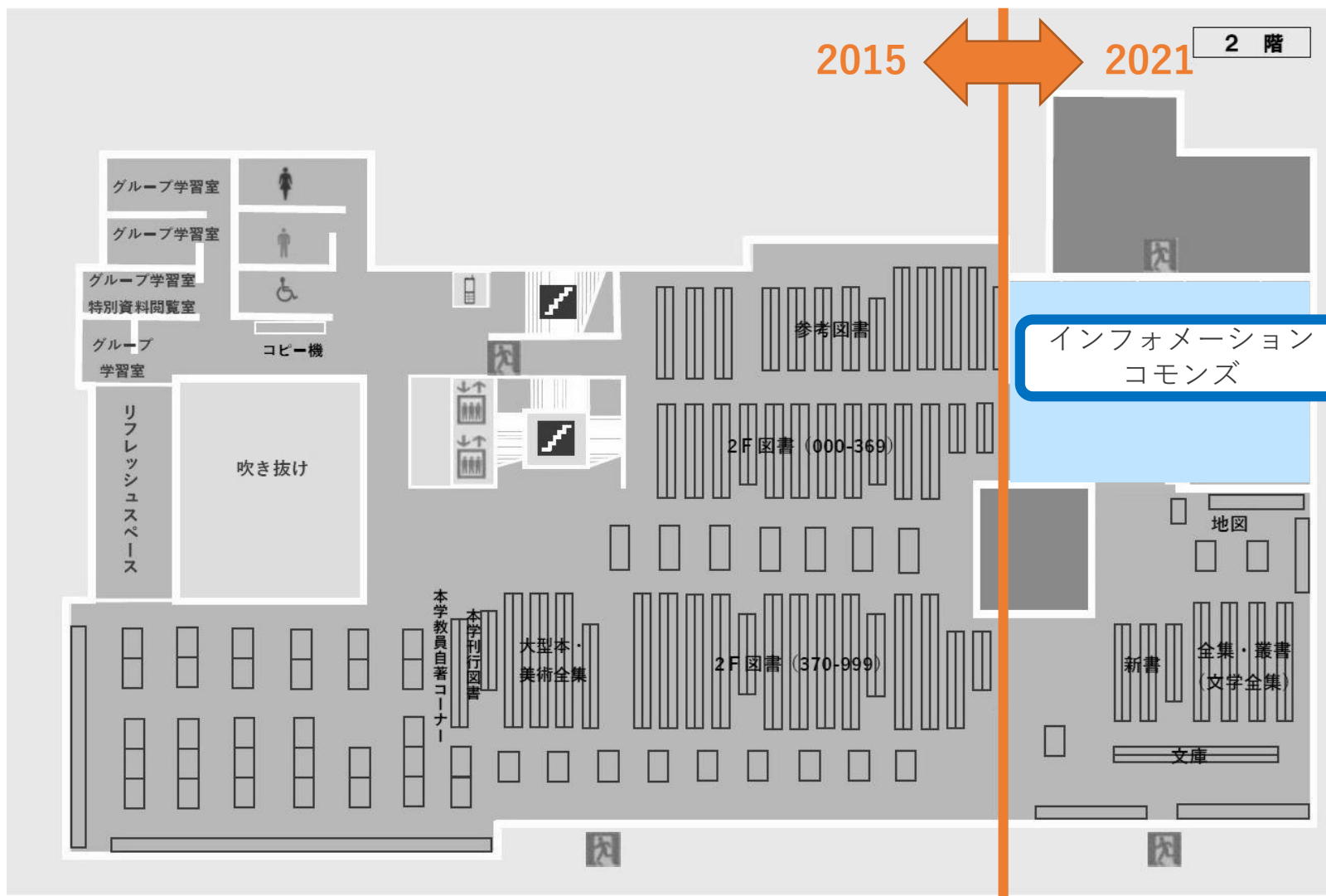
タイムライン

2011年3月	図書館リニューアルプラン2011-2015の策定
2014年6月～翌3月	第1期 附属図書館改修工事開始
2015年5月	第1期 附属図書館リニューアルオープン
2017年11月	「TERAKOYA☆commons」構想
2018年12月	第2期 附属図書館増築工事の決定
2019年2月～5月	図書館における学習環境改善のための調査
2020年1月～翌5月	第2期 附属図書館増築工事開始
2020年4月～5月	新型コロナウイルス緊急事態宣言のため工事中断
2021年6月～	新ラーニングcommons利用開始
2021年6月～12月	資料移動、什器設置、貴重書庫整備
2022年1月11日	附属図書館・教職大学院棟増築リニューアルオープン式典

2019.9～
館内WGを
設置

什器プラン
の見直し





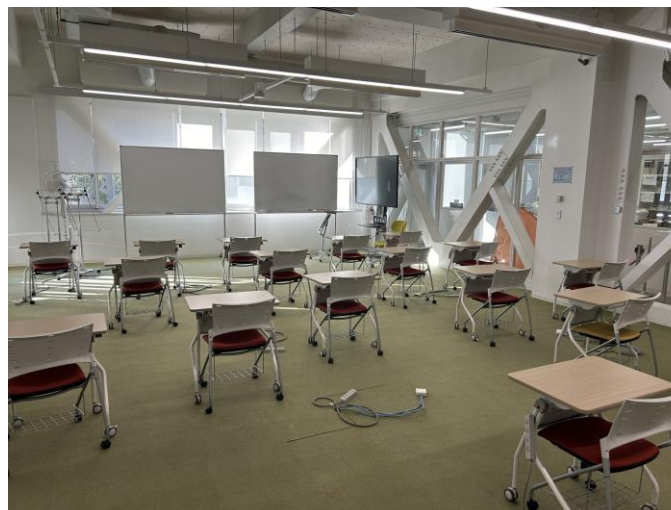
グループワークエリア

- **2015年にオープンしたラーニングコモンズ**
 - 学生がグループワークを行うエリア
 - 椅子や机、ホワイトボードを自由に動かして話し合いながら学習を行う。
 - 展示用什器および備え付けの展示棚を利用して展示を実施。
- **2021年増築により、東側へ拡張。雰囲気異なる空間を複数設置**
 - 情報アシスタントのデスクを設置。各種相談を受付。



セミナーエリア

- 2015年オープン時から運用開始
- 椅子や机を用いてセミナーやイベント、授業を行うエリア
- ガラスのパーテーションで仕切って一つの部屋として使用可能
- 2021年～電子黒板を導入。スライド投影やデジタル教科書の利用可



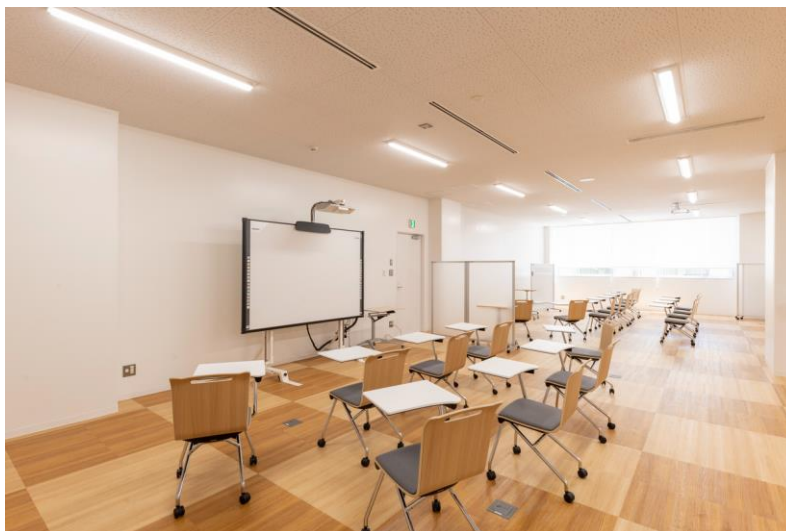
資料エリア

- 教科書、絵本、児童図書など、資料を配置
- 教科書は最新2改訂分のものを配架
- 教育実習に行く学生が事前の準備、授業内で指導案作成の際に利用が多い。複数の資料を比較検討しながらの作業が可能
- **2022年～デジタル教科書コーナー設置**



アクティブエリア

- 2021年～増築により、広いセミナー・イベントエリアを確保
- 椅子や机を用いてセミナーやイベント、授業の実施可能
- プロジェクターを使って壁に投影、大型のモニター、電子黒板にPC画面等を映しながら作業することも可能
- パーテーションで区切ることができるため、大人数のイベントも可能



グローバルエリア

- 2015年のリニューアル時から運用開始
- 学生、学外者がグループワークを行うエリア
- 英語多読資料、留学生用図書、新聞などを配架
- Explaygroundのラボに棚を貸出。



インフォメーションcommons

- 2021年増築により、2階にもスペースが拡張
- 一人で情報機器を使いながら、思考を深めるエリア
- 個人席を多く配置。パソコンを持ち込んでレポート作成等の作業を行う
- 視聴覚ブースは図書館に備付の機器。視聴覚資料の利用。
- 検索用端末2台を設置。



利用者の動向をみながら配置変更、
座席追加

新型コロナウイルスの流行による影響

2020年4月～新型コロナ感染症拡大に伴う図書館閉館・工事中断
グループワーク中心だった什器プランの見直し

- ・オンライン授業の増加による受講場所の需要増
→個別ブースの早期設置

- ・導線の検討

- 入口から一方向に流れるように展示書架配置

- ・コロナ終息後にむけた柔軟性

- 個人席としつつ、グループワークに切替可能な什器構成



“未来の先生のための” ラーニングコモンズとして

教員養成大学としての取組み

東京学芸大学のミッションと図書館

- 東京学芸大学は、人権を尊重し、すべての人々が共生する社会の建設と世界平和の実現に寄与するため、豊かな人間性と科学的精神に立脚した学芸諸般の教育研究活動を通して、高い知識と教養を備えた創造力・実践力に富む**有為の教育者を養成する**ことを目的とする。

• 教員養成大学特有のコンテンツ・活動のための整備



- 教科書・デジタル教科書
- 教育実習用図書
- 電子黒板の設置
- 学校図書館コーナー
- 他者との協働的な学びを促す工夫

未来の先生のためのラーニングコモンズへ

教科書・教育実習用図書

- 戦後に刊行された教科書について、各社から出版されたものを網羅的に所蔵。
 - 教育実習の時期には多くの利用がある。
- 教育実習用図書
 - 教育実習に行く前に必ず読んでおきたい本として、コーナー設置
 - 各附属学校から、毎年、図書の推薦を受付
- セミナーエリアは教室サイズ
 - 教室と同じ広さに仕切ることが可能
 - 机・椅子のサイズも学校と同じ



教育実習用図書コーナー

デジタル教科書コーナー・電子黒板

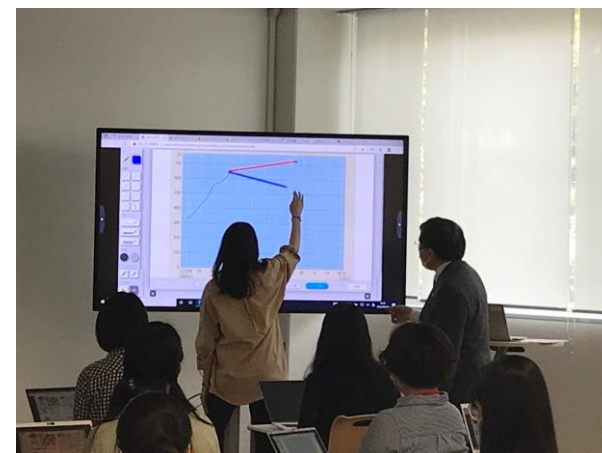
- 2022年度～教科書の書架付近にデジタル教科書コーナーを設置
 - **教科書出版社5社との協定締結**に基づく措置
 - パソコン3台、貸出用ノートPC2台
- 電子黒板を2台導入
 - 自由に利用可



デジタル教科書コーナー



館内貸出用PC



電子黒板

学校図書館コーナーの設置

- 大学図書館員が附属学校を見学、大学の児童書コーナーを充実・リニューアル
- 附属学校の情報コーナーとして、附属学校の図書館だよりなどを掲示。教育実習用図書コーナーの近くに設置。



協働的な学びの場としての ラーニングコモンズ

他者との協働的な学びを促す工夫

学生による学習支援(学生協働)

【学習サポータ】

- 毎年6～11人を採用。
- 学生自身がセミナーや展示を企画・実施
- 学習サポータ自身の学びの機会も提供
 - 2011年～ レポート作成の相談
 - 2021年 学生企画セミナー
 - 2021年～ ラーニングコモンズ内展示
 - 2022年～ デジタル教科書セミナー



【情報アシスタント】

- パソコンの操作支援を中心に相談窓口を設置
- 学部生・大学院生 (情報教室・学務課の依頼)

学生によるラーニングコモンズ内展示



早めに展示企画の大枠が決まり、中身の話し合いを全員でする時間が多く取れました。自分1人では思いつかない意見に触れられて、とても楽しく勉強になりました。



今までの展示に比べて、本の中身にじっくり目を通して選ぶことができ、前回の反省を生かすことができた。

出版社および学習サポーターによる デジタル教科書セミナー

- 教科書出版社5社との協定締結。デジタル教科書の利活用セミナーを実施
- 学習サポーターがワークショップ型のセミナーを企画・実施

出版社によるセミナー

2021年12月1日	東京書籍	36名
2022年4月13日	東京書籍	19名
2022年6月1日	日本文教出版	26名
2023年4月12日	大日本図書	24名
2023年5月10日	教育出版	11名

学習サポーターによるセミナー

2022年度（10回）	学習サポーター	59名
2023年度（5回）	学習サポーター	17名



（学習サポーターによるデジタル教科書セミナーの様子）

セミナー・イベントでの利用

- 教育、研究を目的としたセミナー・イベント利用貸出
 - 学生（指導教員から申込み）
 - キャリア支援
 - インキュベーションセンター など
- 図書館主催の学生向けイベント
 - デジタル教科書セミナー
 - デジタルアーカイブを活用したワークショップ など

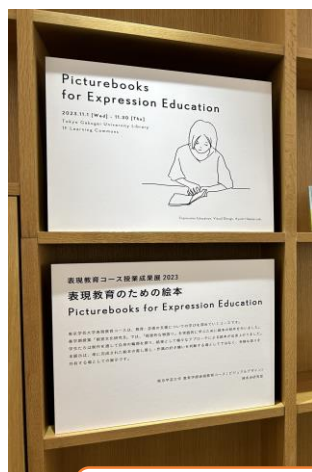
イベント実施の様子



2023年8月23日S×UKILAM教材化
ワークショップ

授業での活用と成果展示

- 図書館資料を活用した授業での利用
 - セミナーエリア、アクティブエリア
 - 予約制（半期に5回まで）
- 初年次教育「入門セミナー（図書館ガイダンス・文献検索）」での利用
- 授業での制作物の成果展示

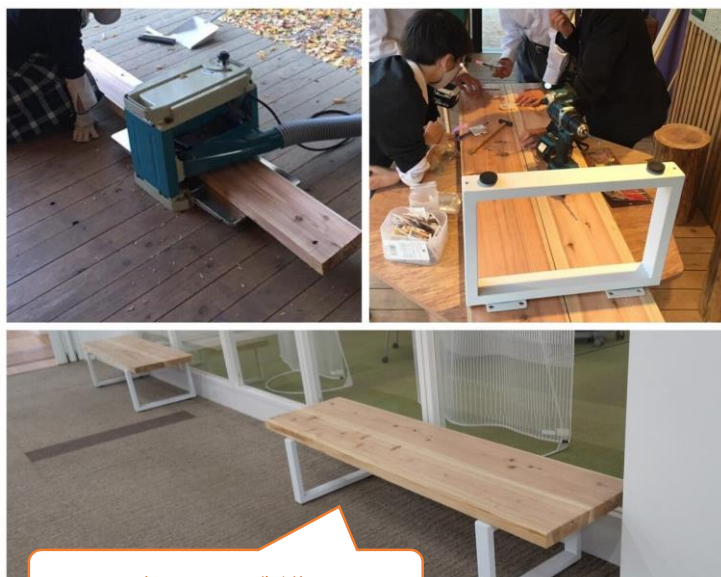


表現教育コース絵本展示（2023年11月1日～30日）

修士課程教育支援協働学概論「メビウスの帯」
（2022年7月8日～7月29日）

附属中学校生徒の製作品利用

- 附属小金井中学校の中学生（Explayground Green Tech Engineerラボ所属）が制作したベンチや飾り棚をラーニングコモンズ内に設置
- 図書館で不足している什器の補充



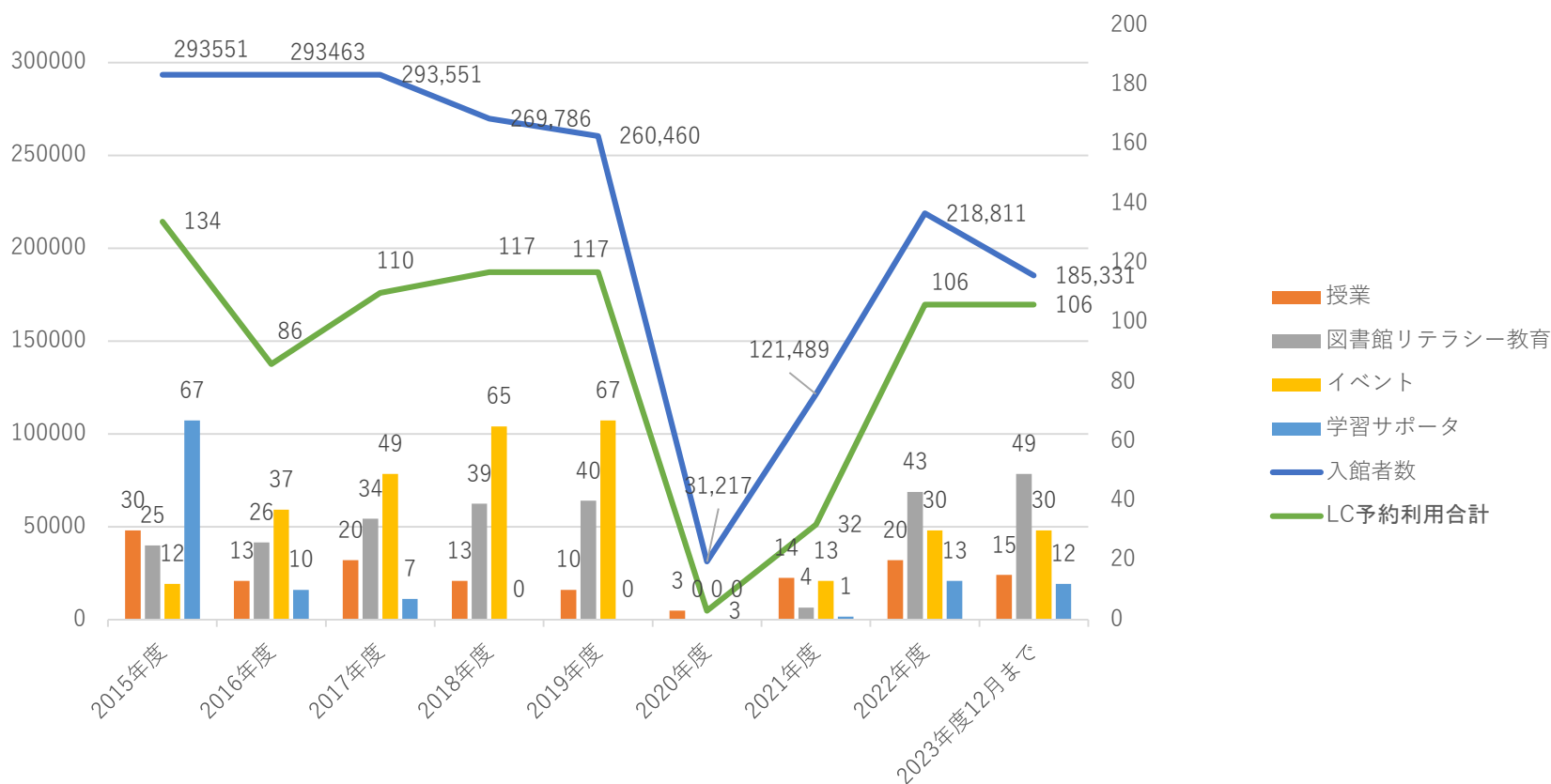
2021年ベンチ製作



2023年飾り棚製作
現在、黒板つきコルクボードも
製作中

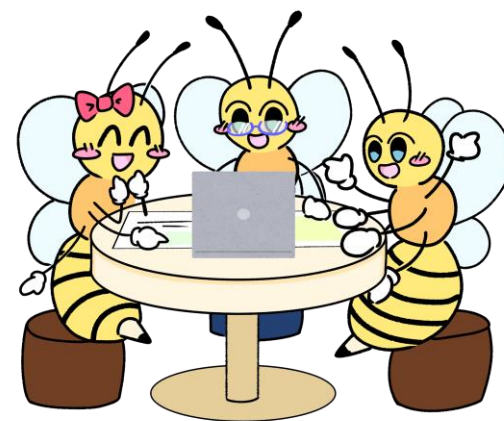
入館者数とラーニングコモンズ利用状況

入館者数とラーニングコモンズ利用状況



図書館増築・ラーニングコモンズのまとめ

- 大学のミッションに貢献する整備
- ラーニングコモンズ内での活動を重視
- 利用動向・状況を見て、柔軟に空間配置の変更



(図書館キャラクター まなぶんぶん)

ラーニングコモンズの未来形

デジタルなラーニングコモンズは可能か？

E-TOPIA再生プロジェクトの実施

- 「教員を目指す学芸大生のためのサイト」として、学芸大生の学びの過程に着目し、教員就職への道のりや教育実習等に関する情報の提供するポータルサイト。
 - 検討にあたっては、学内の教員やキャリア支援担当部署へのインタビューを実施
 - サイトデザインは芸術・スポーツ科学系（美術・書道講座）の教員に依頼
- 前身は、2001年～「教育系電子情報ナビゲーションシステム」、2007年～の「教育情報ポータルサイト」
 - パスファインダー、サブジェクトリポジトリなどに取り組んできたが、サイトの維持管理が十分ではない状況。
 - 2022年～ワーキンググループで、Webサイトの再構築を検討

E-TOPIAのメニュー



<https://lib.u-gakugei.ac.jp/etopia>

教員を目指す過程で知りたい！使える！情報を、まとめて紹介！

- **教職について知る**
 - 教師の魅力、教育関係のニュースなどに関する情報
- **授業実践について知る**
 - 教育映像コンテンツ、教科・主題別の図書、学校図書館の活用に関する情報
- **教育の情報化について学ぶ**
 - 授業支援プラットフォームの紹介、附属学校での利用状況
- **教育実習に行く**
 - 教育実習の準備で参考になる図書、教科書・デジタル教科書、学習指導要領・学習指導案に関する情報
- **時間のあるうちに活動できること**
 - 学校等でのボランティアなどに関する情報（学生キャリア支援室サイトの紹介）、図書館にある関連図書の紹介
- **進路に迷ったら…**
 - 進路やキャリアを考える際に参考となる図書やサイトの紹介
- **就職活動に向けて**
 - 学生キャリア支援室サイトの紹介
- **図書館を活用する**
 - ラーニングコモンズ・グループ学習室、教育関係データベースの紹介

新E-TOPIA公開以後の動き

- 利用は月400件程度（図書館の他のページと比較しても上位のアクセス数）
- 教員養成課程だけではなく、教職支援課程向けのサイトも欲しいという要望があり、2023年度
の取組みとして、現在、作成中。

年月	表示回数	備考
2023年3月	678	3/22～
2023年4月	658	
2023年5月	441	
2023年6月	343	
2023年7月	363	
2023年8月	283	
2023年9月	312	
2023年10月	356	
2023年11月	275	
2023年12月	304	
計	4,003	

「デジタルなラーニングコモンズ」というには双方向のコミュニケーションが無いことなど課題も多いが、ウェブサイト上での学びの場の提供は今後も検討すべき

ライブラリースキーマとしての MOL

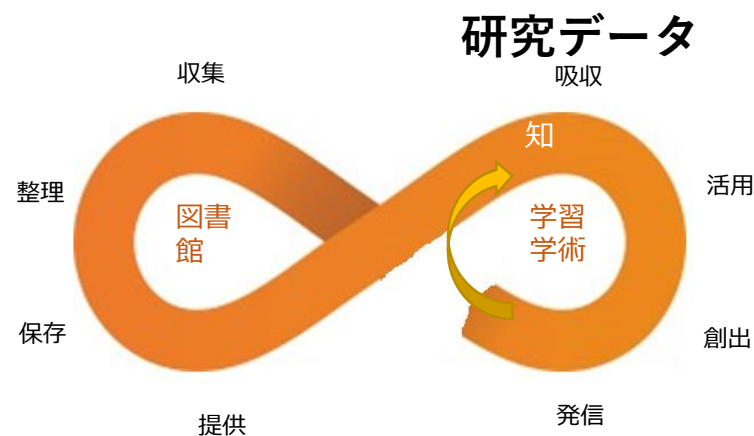
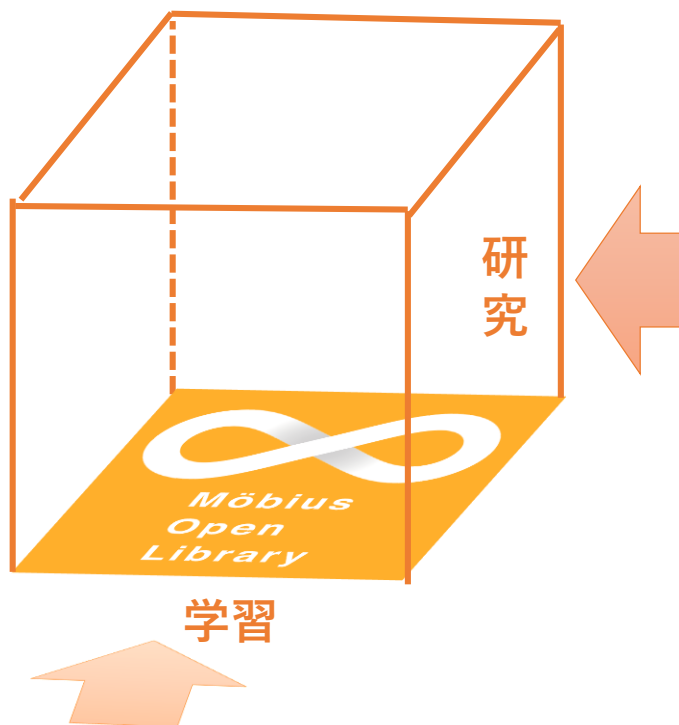
近年の様々なプロジェクトとのマッピング



附属図書館の近年のプロジェクトはすべてメビウスの輪で説明できる

概念スキーマとしての応用

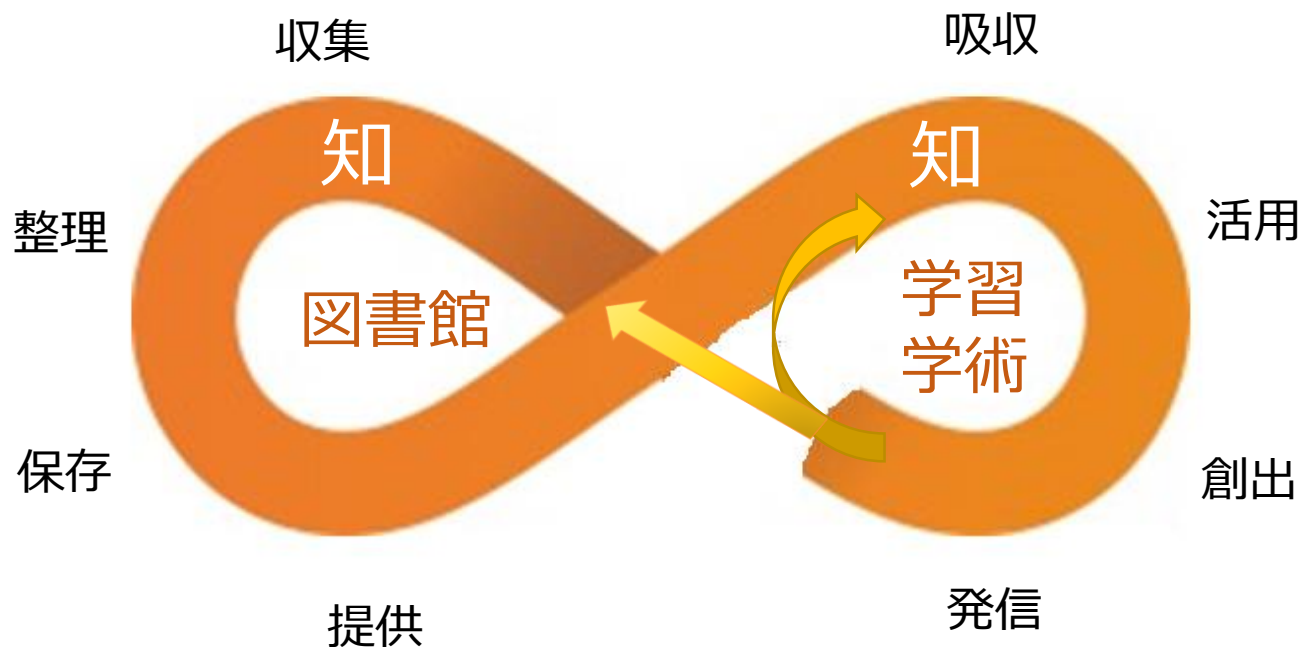
- 学習支援だけではなく、研究支援の観点からどう見えるか？
- 他大学の図書館（別のミッション）からどう見えるか？



オープンアクセスになると右の輪だけになるのか？

未来の図書館の「知の循環」 (私案)

- 知 (PもEも) の永続的利用保証
 - 収集 (選書/価値判断・権利処理)
 - 整理 (目録/メタデータ)
 - 保存 (アーカイブ)
 - 提供 (貸出・レファレンス/ナビゲーション)
- 学習者・研究者とのラポール形成
 - 吸収 (探索支援)
 - 活用 (RDM・学習支援)
 - 創出 (ライティング支援)
 - 発信 (出版支援・製作発表の場)



参考（増築に関する報告・発表資料）

- インタビュー・シリーズ 新たな知のケミストリー：LIBRARY 2025（国立大学図書館協会）

東京学芸大学「未来の先生のためのラーニングコモンズ」

- <https://www.janul.jp/ja/projects/ga/interview/tokyogakugei>

- 第23回図書館総合展ONLINE

リアルとバーチャルの学びの場～学芸大図書館新ラーニングコモンズと電子展示の紹介～

- <https://www.libraryfair.jp/forum/2021/110>

- 東京学芸大学附属図書館かわらばんNo.5（2021.11.22）

増築された図書館をご紹介します

- <https://lib.u-gakugei.ac.jp/sites/default/files/2021-11/No.5%EF%BC%882021.11.22%EF%BC%89.pdf> (PDF)

- ラーニングコモンズ増築【 Möbius Open Library Report Vol.16 】

- https://note.com/mol_expg/n/nb38b77f62d3a